

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	06	01	0401	地域スポーツ推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-4	スポーツの振興			
	施策	1	生涯スポーツの推進			
目的	地域スポーツ（生涯スポーツ）の推進を図る。					
対象	スポーツ指導員、スポーツ推進委員、生涯スポーツ推進員、参加を希望する市民等					
意図	地域スポーツ（生涯スポーツ）の普及、健康増進、体力向上を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> スポーツ・レクリエーション指導者の配置 <input type="checkbox"/> スポーツ指導員の配置 <input type="checkbox"/> スポーツ推進委員の配置 <input type="checkbox"/> 地域スポーツ普及員の配置 <input type="checkbox"/> スポーツ教室・イベント等の開催 <input type="checkbox"/> 早起きマラソンの開催 <input type="checkbox"/> ニュースポーツ等の普及 <input type="checkbox"/> ニュースポーツ交流大会の開催 <input type="checkbox"/> スノースポーツフェスティバルの開催						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定		
		<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	早起きマラソン延べ参加者数	人	計画	186,600	186,700	186,700
			実績	202,840	202,523	
②	市スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数。	人	計画	5,000	5,500	6,000
			実績	6,070	6,361	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数	人	目標	220,000	220,500	225,000
			実績	216,806	216,397	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 早起きマラソンの延べ参加者数は、ほぼ昨年並みとなった。東和地域に新たに会場を設置するなど、新規会場の設置を積極的に進め、今後の参加者増に期待できる要因が増えている。スポーツ教室については、スポーツ推進委員の積極的な活動により、ニュースポーツ教室等を地域で実施する機会が増えた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・市民が生涯にわたり積極的にスポーツに取り組むため、市民のスポーツ参加機会を増加させる必要がある。そのため、スポーツ団体と協働し、多様化する市民のスポーツニーズに対応したスポーツ教室などの開催を推進する。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	早起きマラソンの延べ参加者数は前年を下回ったが、市内全域での取り組みを目指し、新規会場の設置により参加者数の増加が期待できる。また、スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ教室等を充実させることにより、参加者数の増加が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	10月の市民総参加型スポーツイベントは、地域元気フェスティバルスポーツ交流大会に移行し、「はなまきスポーツフェスティバル」を廃止する。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	市民が、誰でも、いつでも、いつまでも、気軽にスポーツに取り組むためには、市民のスポーツ参加の機会を増加させる必要がある。そのため、早起きマラソンを推進するほか、多様なスポーツ教室の開催を推進する必要がある。
総合評価 …上記評価結果の総括		
スポーツ基本法が制定（平成23年8月23日施行）されたことに伴い、平成24年3月30日付けで、スポーツ基本計画が策定された。		
地域（生涯）スポーツの推進のために、早起きマラソンをはじめとする各種事業を行い、一定の成果があった。 特に、早起きマラソンについては、規則正しい世話人等の労力の軽減等を図り、さらに会場を拡大出来たことにより、参加者の増加見込まれたが、昨年並みの参加者数となった。スポーツ教室等は、スポーツ推進委員の積極的な活動により、スポーツ推進委員が行うスポーツ教室に需要が高まっており、参加者が増加した。 国の基本計画の策定に伴い、①子どものスポーツの機会の充実、②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備等が政策目標として掲げられた。このことにより、より一層、スポーツ環境の整備を図り、市民の多様化するニーズに対応したスポーツ教室等の開催につとめながら、スポーツの機会の充実とスポーツ活動の推進を図っていかねばならない。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	06	01	0401	地域スポーツ推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		18,496	16,942		△ 1,554
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	18,496	16,942		△ 1,554

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

スポーツで健康、スポーツで活気あふれるまちをつくります

事業開始の背景・経緯

旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で、生涯スポーツ社会の実現のため、子どもの体力の向上方策や総合型地域スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。（文部科学省では、スポーツ基本法の規定に基づき、平成24年3月に、スポーツ基本計画を新たに策定。）

事業概要

- スポーツ・レクリエーション指導者の配置
 - ・スポーツ指導員の配置
 - ・スポーツ推進委員の配置
 - ・地域スポーツ普及員の配置
- スポーツ教室・イベント等の開催
 - ・早起きマラソンの開催
 - ・ニュースポーツ等の普及
 - ・ニュースポーツ交流大会の開催
 - ・スノースポーツフェスティバルの開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

新たな課題として、子供の体力が昭和60年頃の水準を上回ることができるような取り組みと、2極化傾向に対応したスポーツの機会の提供等の取り組みが必要である。（注：2極化とは、スポーツをすることしない子の差が激しくなっていることを指す。）
早起きマラソンは、子供の体力向上はもちろん、「早寝、早起き、朝ごはん」という規則正しい生活の習慣づけに非常に良い事業であり、ほとんどの会場が旧花巻地域であり他地区への普及が課題である。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 早起きマラソン
 主な支出 【謝礼】 1,410,000円 【消耗品費】 84,240円
 ・ 5月第1週から10月体育の日まで（156日間）、市内69会場にて開催
 ・ 延べ総参加者202,523人（1日当たり、1,300名程）
 ・ 普及月間（5月～6月）、強調月間（7月～10月）
 ・ 年間三賞（皆勤、精勤、努力賞）の表彰
- スポーツ指導員
 主な支出 【報酬】 1,842,000円
 ・ 生涯スポーツの指導実践
 ・ 市民スポーツ教室の企画、運営（13回実施、延べ406名参加）
- スポーツ推進委員
 主な支出 【報酬】 45,000円×40名=1,800,000円 【消耗品】 エホーム(隔年)497,777円
 ・ ニュースポーツ、生涯スポーツの普及、指導
 ・ 各種スポーツ教室の企画、運営（ニュースポーツ講習会等）
 ・ 岩手県、東北、全国の研修会への参加
 ・ 各地区（振興センター単位）へのニュースポーツの普及
- 地域スポーツ普及員（旧生涯スポーツ推進員）
 主な支出 【謝礼】 各地区協議会へ200千円+会員数割（1名分3千円） 計1,318,000円
 ・ 地域（生涯）スポーツの普及、指導・実践
 ・ 各地域スポーツ教室の企画、運営
- スポーツ教室・イベント等の開催
 ・ 全国スポーツ推進委員研究協議会岩手県大会の開催 負担金69,000円
 ・ 富士大学スポーツセンター無料開放事業 委託料 5,400円
 ・ 子どもチャレンジランキングを、スポーツ推進委員が実施を継続 委託料143,000円
 ・ コーディネーショントレーニング指導者研修会の開催 委託料356,400円
 ・ ニュースポーツ交流大会の開催 委託料 200,000円
 ・ スノースポーツフェスティバルの開催 委託料 200,000円